

組み立て説明書

nocturne ドレッサー&スツール
S/EC/2525/DRES
SAZ5052562A0008



組み立て前に必ずお読みください。

＜組み立て時間＞
約20分

この度は、当社の商品をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
安全にご使用いただく為、組み立て説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
また、この組み立て説明書は大切に保管してください。

注意事項

- 組み立ての際には、窓を開けるなど、風通しの良い状態でお部屋を換気しながら組み立てを行ってください。また、家具設置後も時折換気を行ってください。
- ネジ及びボルトを締め終える際に、力を入れ過ぎると木の繊維がつぶれ、ネジ及びボルトが空回りする原因となることがあります。また、ネジを締め付ける際に斜めにねじ込むと部材が割れる原因となることがありますのでご注意ください。
- ボルトは位置を合わせながら、仮止めしてください。
全てのボルトの位置が合ったことを確認の上、最後にしっかりとボルトを締めてください。
- ネジ及びボルトに緩みがないか定期的に確認し、緩みがあれば、締め直してください。
緩んだまま使用していると、破損・ケガ・事故の原因となることがあります。
- 不要な敷物を敷いてから組み立てを行ってください。床が傷つく原因となることがあります。
- 天然木を使用しているので、多少、色の濃淡や節があります。
- 直射日光の当たる場所、火気や暖房器具の近くで使用しないでください。
変色・変形・破損・火災の原因となることがあります。
- 水分や色素を含むものを直接置いて長時間放置すると、商品に染み込んで取れなくなることがありますのでご注意ください。また、除光液が付着しますと塗装を溶かし変色の原因となります。
- 天板や座面、1本の脚のみに極度に偏った荷重または偏った位置にものを置くことは、お避けください。
天板やスツールの上で立ち上がったたり、踏み台にしないでください。
転倒・破損・ケガ・事故の原因となることがあります。
- 天板の開閉時には指詰めにご注意ください。



危険



傾き注意

耐荷重
天板 : 約10kg
BOX内 : 約 5kg
座面 : 約80kg

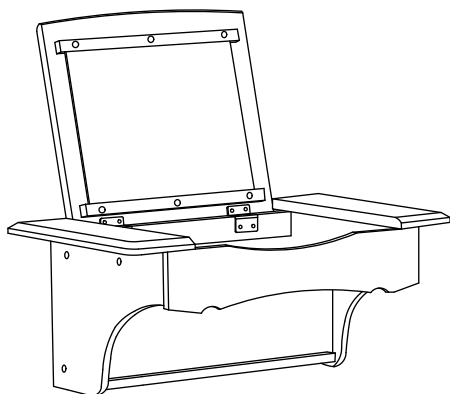


salut!



組み立て前に各部品が揃っているかを確認してください。

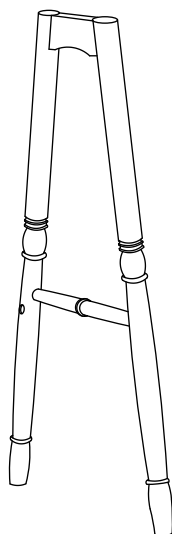
□ 大きな部品



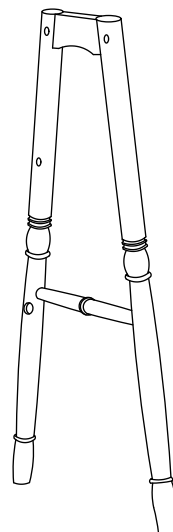
①本体：1個



②サン：1本



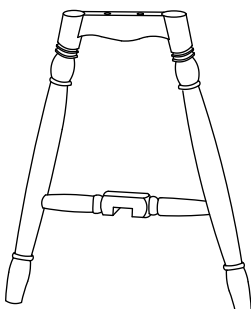
③左脚：1個



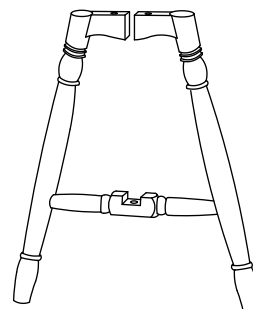
④右脚：1個



⑤スツール座面：1個

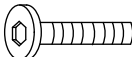
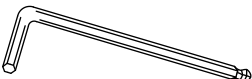
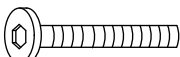
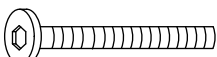


⑥スツール脚A：1個



⑦スツール脚B：1個

□ 小さな部品

番号	部品名	数	番号	部品名	数
⑧	 ボルト(短)	1本	⑪	 六角レンチ	1本
⑨	 ボルト(中)	8本 + 予備1本	⑫	 フェルト	予備2枚
⑩	 ボルト(長)	4本 + 予備1本			

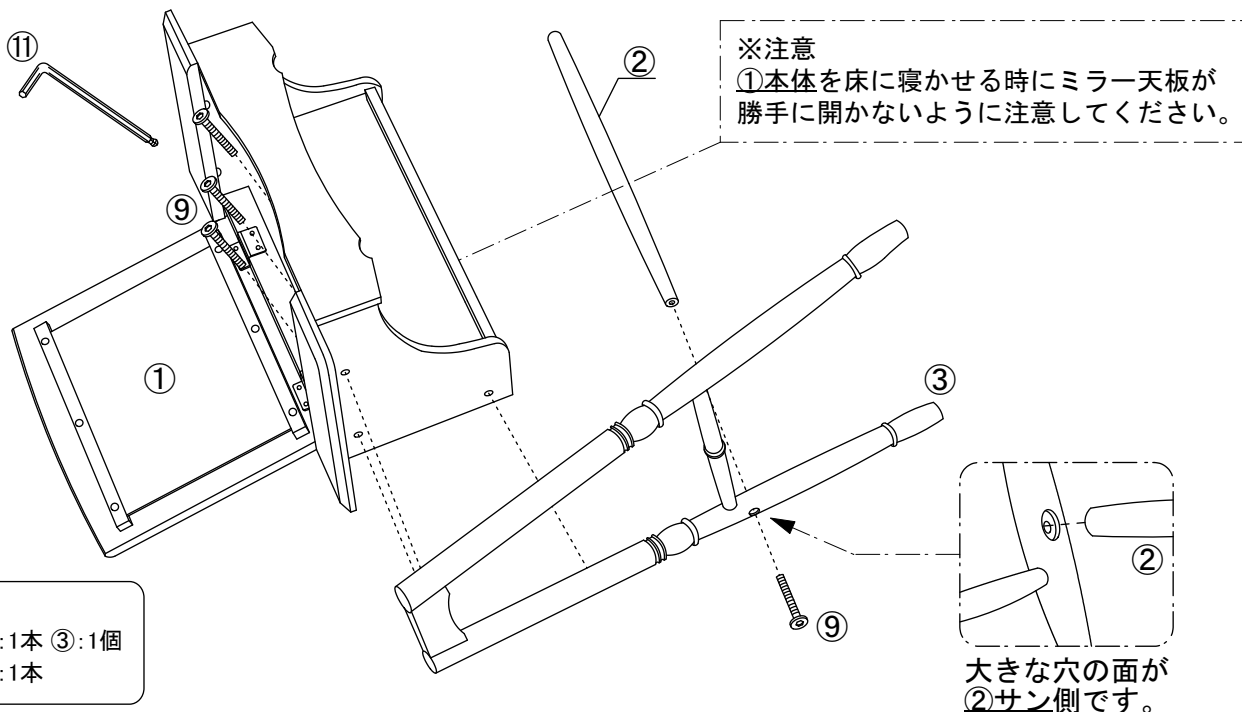


⑫フェルト2枚は予備フェルトですので、万が一ご使用中に脚裏のフェルトが剥がれてしまった場合にお使いください。

※床板が傷つかないように不要な敷物を商品の下に敷いて組み立てを行ってください。

1

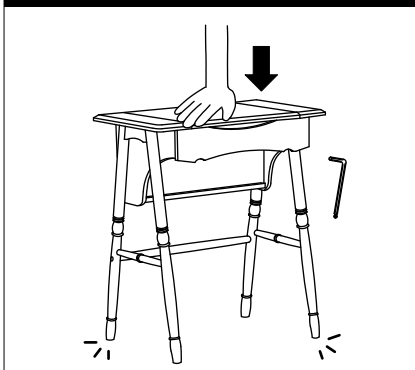
- ①本体を図のように床に寝かせます。寝かせたらミラー天板を開いておきます。
③左足を①本体の内側から⑨ボルト(中)で⑪六角レンチを使用して仮止めします。
⑪六角レンチは長い側の先端を使うとボルトが締めやすいです。
②サンを③左腿に⑨ボルト(中)で⑪六角レンチを使用して仮止めします。



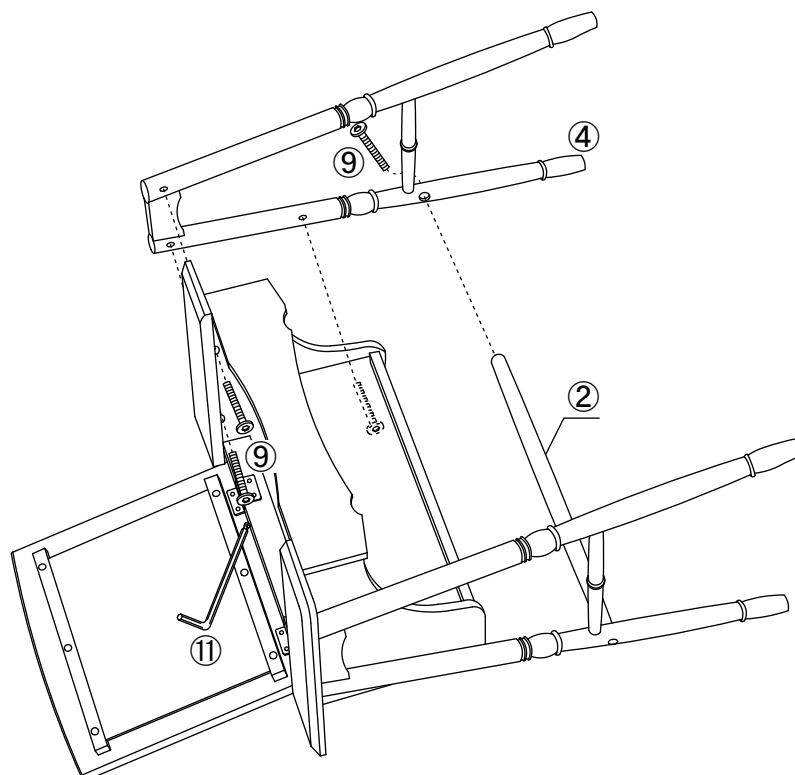
2

- ①と同じように、反対側の④右腿も①本体と②サンに⑨ボルト(中)で⑪六角レンチを使用して仮止めします。
全てのボルトの位置が合ったことと、本体を起こし水平な床に置いてがたつきがないことを確認してから、全てのボルトをしっかりと締めてください。
ボルトをしっかりと締める際は⑪六角レンチの短い方の先端を使って、締めてください。

※がたつきが出る場合は1度全てのボルトをゆるめた状態にし、上から荷重をかけて、全ての脚が床に接地していることを確認してから、しっかりと締め直してください。



使用部品
④:1個 ⑨:4本
⑪:1本



3

スツールを組み立てます。

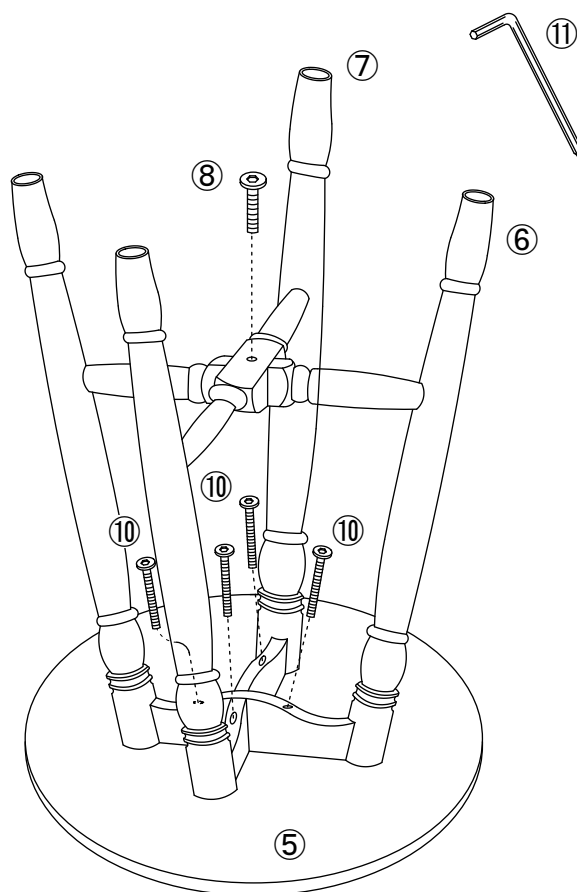
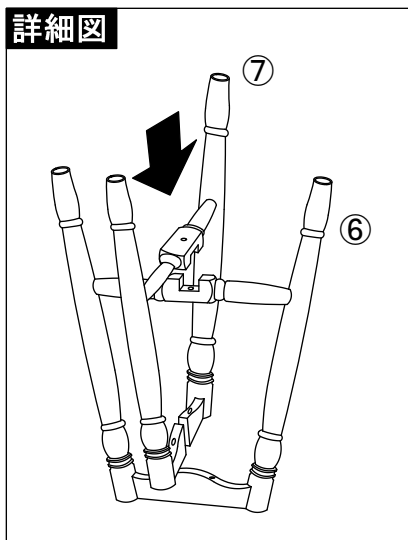
⑥スツール脚Aと⑦スツール脚Bを詳細図のように組み合わせます。

次に、組み上げた脚と⑤スツール座面を⑩ボルト(長)で⑪六角レンチを使用して仮止めします。

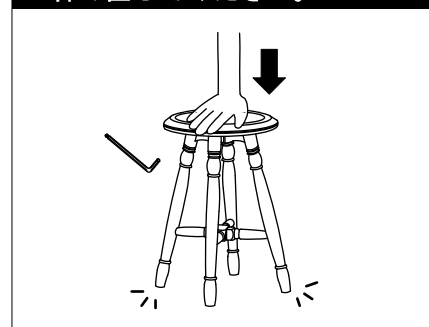
最後に脚の横どうしを⑧ボルト(短)で⑪六角レンチを使い仮止めします。

全てのボルトの位置が合ったことと、水平な床に置いてがたつきがないことを確認してから全てのボルトをしっかりと締めてください。

詳細図



※がたつきが出る場合は1度全てのボルトをゆるめた状態にし、上から荷重をかけて、全ての脚が床に接地していることを確認してから、しっかりと締め直してください。



使用部品

⑤:1個 ⑥:1個 ⑦:1個

⑧:1本 ⑩:4本 ⑪:1本